

対象校No.

注4

学校コード F109310101598

注3

設置年度 令和 7年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

注2

国際医療福祉大学 保健医療学部 医学検査学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正後大学設置基準適用)

学校法人国際医療福祉大学
令和7年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	事務局教務課
職名・氏名	カチョウダイリ スズキススム 課長代理・鈴木享
電話番号	0287-24-3209 (内線: 1165)
(夜間)	0287-24-3209 (内線: 1165)
e-mail	otw-kym@ihwg.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称: ◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合: 「〇〇大学」
・学部の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合: 「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合: 「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

保健医療学部

<医学検査学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	15
4. 既設大学等の状況	16
5. 教育研究実施組織の状況	18
6. 附帯事項等に対する履行状況等	32
7. その他全般的事項	34

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人国際医療福祉大学

(2) 大学名

国際医療福祉大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒324-8501
栃木県大田原市北金丸2600-1

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(タカギ クニノリ) 高木 邦格 (平成6年12月)		
学長	(スズキ ヤスヒロ) 鈴木 康弘 (令和4年4月)		
学部長	(タニグチ タカミチ) 谷口 敬道 (令和7年4月)		
学科長等	(フジマキ シンイチ) 藤巻 慎一 (令和7年4月)		

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を

()書きで記入してください。

(例) 令和6年度に報告する内容 → (6)

令和7年度に報告する内容 → (7)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 - ・ 様式は、令和2年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和7年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合は、別途ご連絡ください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留学」の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
保健医療学部 医学検査学科 学士 (医学検査学)	保健衛生学関係(看護学関係及びリハビリ)	4年	80人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	320人	-	

- (注) 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・ 「学位又は学科の分野」には、「認申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1)又は(その2の2))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	-	1.07 倍	1 倍		
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	289 [2]				春季入学以外の入学時期と入学定員内訳
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	280 [2]				
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	149 [1]				
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	86 [1]				
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.07				

- (注) 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合は、(())書きとするなど、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 転入学生は記入しないでください。
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳(予定を含む)を記載してください。(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。)
 - ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和8年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - ・ 「(5) -② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	86	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[1]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
2年次			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
3年次					-	-	-	-	-	-	-	-	
					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
					(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
4年次							-	-	-	-	-	-	
							[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
							(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	86	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[1]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
令和2年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
令和6年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
令和7年度	86 人	0 人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
			令和7年度	0 人	0 人	
合計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。
 - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「修学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・修学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数(a)}}{\text{令和7年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{86} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<保健医療学部 医学検査学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					基幹教員以外の教員 (助手を除く)
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
人間系	文学論	1-2-3-4前			2							1
	演劇論	1-2-3-4後			1							1
	心理学	1-2-3-4前			2							1
	哲学	1-2-3-4前			2							1
	コミュニケーション概論	1-2-3-4後			2							1
	雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1-2-3-4前			2							1
	人間学	1-2-3-4後			2							1
	歴史学	1-2-3-4後			2							1
	倫理学	1-2-3-4後			2							1
	宗教学	1-2-3-4後			2							1
	日本近現代史	1-2-3-4後			2							1
	文化人類学	1-2-3-4前			2							1
	教育学	1-2-3-4後			2							1
	教育方法論	1-2-3-4前			2							1
死生学-死を通して生を考える-生きがい論	1-2-3-4後			2							1	
社会系	法学	1-2-3-4後			2							1
	日本国憲法	1-2-3-4前			2							1
	法と道徳・倫理	1-2-3-4後			2							1
	社会学	1-2-3-4前			2							1
	日本政治経済論	1-2-3-4前			2							1
	マスメディア論	1-2-3-4前			2							1
	福祉経済学	1-2-3-4後			2							1
	アジア諸国の経済・社会・文化	1-2-3-4後			2							1
	国際関係論	1-2-3-4前			2							1
	世界の経済	1-2-3-4前			2							1
	国際医療福祉論	1-2-3-4前			2							1
	組織運営管理論	1-2-3-4前			2							1
	海外保健福祉事情	2-3-4後		○	2							1
	我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1後		○	1							1
自然・情報系	地球環境論	1-2-3-4前			2							1
	ポランティア論	1-2-3-4後			2							1
	ポランティアコーディネート論	1-2-3-4後			2							1
	手話入門	1-2-3-4前			2							2
	経済の仕組み	1-2-3-4前			2							1
	経済の歴史	1-2-3-4後			2							1
	統計学	1-2-3-4後			2							1
	疫学・保健医療統計学	1後			2							1
	数学	1-2-3-4前			2							1
	物理学	1-2-3-4前			2							1
	化学	1後		○	2							1
	生物学	1-2-3-4前			2							1
	コンピュータの基礎	1-2-3-4後			2							1
	データリテラシー	1前		○	1							1
医療データサイエンス I (DS基礎)	2-3-4前			1							1	
医療データサイエンス II (AI基礎)	2-3-4後			1							1	
医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報	1後		○	1							1	
医学/医療史	1-2-3-4後			2							1	
人間工学	1-2-3-4後			2							1	
総合系	大学入門講座-看護人・社会人として成長するために	1前		○	1							1
	郷土論～栃木学～	1-2-3-4前			1							1
	医療福祉教養講義	1-2-3-4後			1							1
	メディカルマナー入門	1-2-3-4後			2							1
	総合講義-超高齢社会で認知症と向き合う	1-2-3-4後			1							1
	総合講義(現代社会をどう見るか)	1-2-3-4後			1							1
	食と人間	1-2後			1							1
	持続可能な発展	1-2-3-4前			2							1
ポランティア実践	1-2-3-4後			1							1	

【令和7年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					基幹教員以外の教員 (助手を除く)
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
人間系	文学論	1-2-3-4前			2							1
	演劇論	1-2-3-4後			1							1
	心理学	1-2-3-4前			2							1
	哲学	1-2-3-4前			2							1
	コミュニケーション概論	1-2-3-4後			2							1
	雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1-2-3-4前			2							1
	人間学	1-2-3-4後			2							1
	歴史学	1-2-3-4前			2							1
	倫理学	1-2-3-4後			2							1
	宗教学	1-2-3-4後			2							1
	日本近現代史	1-2-3-4後			2							1
	文化人類学	1-2-3-4前			2							1
	教育学	1-2-3-4後			2							1
	教育方法論	1-2-3-4前			2							1
死生学-死を通して生を考える-生きがい論	1-2-3-4後			2							1	
社会系	法学	1-2-3-4前			2							1
	日本国憲法	1-2-3-4前			2							1
	法と道徳・倫理	1-2-3-4後			2							1
	社会学	1-2-3-4前			2							1
	日本政治経済論	1-2-3-4後			2							1
	マスメディア論	1-2-3-4前			2							1
	福祉経済学	1-2-3-4後			2							1
	アジア諸国の経済・社会・文化	1-2-3-4前			2							1
	国際関係論	1-2-3-4前			2							1
	世界の経済	1-2-3-4前			2							1
	国際医療福祉論	1-2-3-4前			2							1
	組織運営管理論	1-2-3-4後			2							1
	海外保健福祉事情 I (講義)	2-3-4前		○	1							1
	海外保健福祉事情 II (実習)	2-3-4後		○	1				1			1
我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1前		○	1							1	
自然・情報系	地球環境論	1-2-3-4前			2							1
	ポランティア論	1-2-3-4後			2							1
	ポランティアコーディネート論	1-2-3-4後			2							1
	手話入門	1-2-3-4前			2							2
	経済の仕組み	1-2-3-4前			2							1
	経済の歴史	1-2-3-4後			2							1
	統計学	1-2-3-4後			2							1
	疫学・保健医療統計学	1後			2							1
	数学	1-2-3-4前			2							1
	物理学	1-2-3-4前			2							1
	化学	1後		○	2							1
	生物学	1-2-3-4前			2							1
	コンピュータの基礎	1-2-3-4後			2							1
	データリテラシー	1前		○	1							1
医療データサイエンス I (DS基礎)	2-3-4前			1							1	
医療データサイエンス II (AI基礎)	2-3-4後			1							1	
医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報	1前		○	1							1	
医学/医療史	1-2-3-4前			2							1	
人間工学	1-2-3-4前			2							1	
総合系	大学入門講座-看護人・社会人として成長するために	1前		○	1							1
	郷土論～栃木学～	1-2-3-4前			1							1
	医療福祉教養講義	1-2-3-4後			1							1
	メディカルマナー入門	1-2-3-4前			2							1
	総合講義-超高齢社会で認知症と向き合う	1-2-3-4後			1							1
	総合講義(現代社会をどう見るか)	1-2-3-4後			1							1
	食と人間	1-2後			1							1
	持続可能な発展	1-2-3-4前			2							1
ポランティア実践	1-2-3-4後			1							1	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					基幹教員以外の教員 (助手を除く)
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門基礎 / 学部共通	公衆衛生学	2前	○	2								1
	救急医学	2・3後			1							1
	微生物と病気	1・2後			2							1
	リハビリテーション概論	1・2前			2							1
	関連職種連携	2後	○	2		1						1
	看護論	1後			2							1
	ケアマネジメント論	1・2前			1							1
	ケースワーク論	1・2後			1							1
	医療管理学	1・2前			2							1
	保健医療福祉制度論	1前	○	2								1
	社会福祉学	1・2前			2							1
	臨床心理学概論	1・2後			2							1
	福祉支援工学概論	1・2前			2							1
	関連職種連携ワーク	3前	○	1				1				1
	関連職種連携実習	4前	○	1		1						1
	リスクマネジメント論	2後			2							1
	電子カルテシステム入門	2後			1							1
	レクリエーション概論	2後			1							1
専門基礎	解剖学Ⅰ(総論)	1前	○	2								1
	解剖学Ⅱ(各論)	1後	○	2								1
	組織学演習	2前	○	1			2			1		1
	生理学	1後	○	1								1
	病理学	1後	○	2			1					1
	臨床医学概論	2後	○	1								1
	内科学	2前	○	1								1
	臨床神経学	1・2・3後			1							1
	精神医学	1・2・3後			1							1
	リハビリテーション医学	1後	○	1								1
	小児科学	1・2・3後			1							1
	老年学	1前	○	1								1
	病態薬理学	1後	○	1								1
	臨床栄養学	1後	○	1								1
	遺伝学	1前	○	1								1
	分析化学	1後	○	1								1
	生化学	1前	○	1								1
	生化学実習	1後	○	1								1
医用工学・情報概論	1前	○	2			1					1	
医用工学・情報実習	1後	○	1			1					1	
検査機器学・情報システム学総論	2前	○	2				1				1	
専門教育科目	病理検査学	2前	○	2			1					1
	病理検査学実習	3前	○	2			1	2		1		1
	細胞診断学	2前	○	1				1				1
	細胞診断学実習	2後	○	1			1	2		1		1
	血液検査学Ⅰ(形態系・凝固・線溶系の基礎)	2前	○	2			1					1
	血液検査学Ⅱ(形態系・凝固・線溶系の応用)	2後	○	2					1			1
	血液検査学実習	3前	○	2			1		1	1		1
	一般検査学	1後	○	2					1			1
	一般検査学実習	2前	○	1					1	1		1
	臨床化学検査学Ⅰ(糖質、タンパク質、脂質)	1後	○	2								2
	臨床化学検査学Ⅱ(酵素、ホルモン、ビタミン)	2前	○	2								2
	臨床化学検査学実習	2後	○	2			1					1
	遺伝子検査学	1後	○	2			1					1
	遺伝子検査学実習	2前	○	1			1	1				1
	微生物検査学Ⅰ(細菌)	2前	○	2				1				1
	微生物検査学Ⅱ(ウイルス、真菌)	2後	○	2				1				1
	微生物検査学実習	3前	○	2			1	1	1	1		1
	医動物学演習	2前	○	1								1
免疫検査学	2前	○	1					1			1	
免疫検査学実習	2後	○	1			1	1	1			1	
輸血・移植検査学	2後	○	2								1	
輸血・移植検査学実習	3前	○	2					1			1	
生理検査学Ⅰ(循環器、脳・神経、筋系)	2前	○	2				1				1	
生理検査学Ⅱ(呼吸器、感覚器、平衡機能)	2後	○	2				1				1	
生理検査学実習	3前	○	2				1				1	
超音波・MRI検査学	2後	○	2			1					1	
超音波・MRI検査学実習	2後	○	2			1					2	
先進臨床検査技術学	3前			2							1	
臨床検査統計学	2前	○	2								1	
医療安全管理学演習	2後	○	2			2					1	

【令和7年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					基幹教員以外の教員 (助手を除く)
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門基礎 / 学部共通	公衆衛生学	2前	○	2								1
	救急医学	2・3後			1							1
	微生物と病気	1・2後			2				1			1
	リハビリテーション概論	1・2前			2							1
	関連職種連携	2後	○	2			1					1
	看護論	1後			2							1
	ケアマネジメント論	1・2前			1							1
	ケースワーク論	1・2後			1							1
	医療管理学	1・2前			2							1
	保健医療福祉制度論	1前	○	2								1
	社会福祉学	1・2後			2							1
	臨床心理学概論	1・2後			2							1
	福祉支援工学概論	1・2前			2							1
	関連職種連携ワーク	3前	○	1						1		1
	関連職種連携実習	4前	○	1		1						1
	リスクマネジメント論	2後			2							1
	電子カルテシステム入門	2後			1							1
	レクリエーション概論	2後			1							1
専門基礎	解剖学Ⅰ(総論)	1前	○	2								1
	解剖学Ⅱ(各論)	1後	○	2								1
	組織学演習	2前	○	1					2		1	1
	生理学	1後	○	1						1		1
	病理学	1後	○	2			1			1		1
	臨床医学概論	2後	○	1								1
	内科学	2前	○	1								1
	臨床神経学	1・2・3後			1							1
	精神医学	1・2・3後			1							1
	リハビリテーション医学	1後	○	1								1
	小児科学	1・2・3後			1							1
	老年学	1前	○	1								1
	病態薬理学	1後	○	1								1
	臨床栄養学	1後	○	1								1
	遺伝学	1前	○	1					1			1
	分析化学	1後	○	1								1
	生化学	1前	○	1								1
	生化学実習	1後	○	1						1		1
医用工学・情報概論	1前	○	2			1			1		1	
医用工学・情報実習	1後	○	1			1					1	
検査機器学・情報システム学総論	2前	○	2				1				1	
専門教育科目	病理検査学	2前	○	2			1					1
	病理検査学実習	3前	○	2			1	2		1		1
	細胞診断学	2前	○	1				1				1
	細胞診断学実習	2後	○	1			1	2		1		1
	血液検査学Ⅰ(形態系・凝固・線溶系の基礎)	2前	○	2			1					1
	血液検査学Ⅱ(形態系・凝固・線溶系の応用)	2後	○	2					1			1
	血液検査学実習	3前	○	2			1		1	1		1
	一般検査学	1後	○	2					1			1
	一般検査学実習	2前	○	1					1	1		1
	臨床化学検査学Ⅰ(糖質、タンパク質、脂質)	1後	○	2								2
	臨床化学検査学Ⅱ(酵素、ホルモン、ビタミン)	2前	○	2								2
	臨床化学検査学実習	2後	○	2			1					1
	遺伝子検査学	1後	○	2			1					1
	遺伝子検査学実習	2前	○	1			1	1				1
	微生物検査学Ⅰ(細菌)	2前	○	2				1				1
	微生物検査学Ⅱ(ウイルス、真菌)	2後	○	2				1				1
	微生物検査学実習	3前	○	2			1					1
	医動物学演習	2前	○	1								1
免疫検査学	2前	○	1					1			1	
免疫検査学実習	2後	○	1			1	1	1			1	
輸血・移植検査学	2後	○	2								1	
輸血・移植検査学実習	3前	○	2					1			1	
生理検査学Ⅰ(循環器、脳・神経、筋系)	2前	○	2				1				1	
生理検査学Ⅱ(呼吸器、感覚器、平衡機能)	2後	○	2				1				1	
生理検査学実習	3前	○	2				1				1	
超音波・MRI検査学	2後	○	2			1					1	
超音波・MRI検査学実習	2後	○	2			1					2	
先進臨床検査技術学	3前			2							1	
臨床検査統計学	2前	○	2								1	
医療安全管理学演習	2後	○	2			2					1	

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和7年度】

- ・「歴史学」：開講学期を後期から前期に変更（授業時間割の調整および教育上の効果を考慮）
- ・「法学」：開講学期を後期から前期に変更（授業時間割の調整および教育上の効果を考慮）
- ・「日本政治経済論」：開講学期を前期から後期に変更（授業時間割の調整および教育上の効果を考慮）
- ・「アジア諸国の経済・社会・文化」：開講学期を後期から前期に変更（授業時間割の調整および教育上の効果を考慮）
- ・「組織運営管理論」：開講学期を前期から後期に変更（授業時間割の調整および教育上の効果を考慮）
- ・「海外保健福祉事情」：海外保健福祉事情（2単位）を「海外保健福祉事情Ⅰ（講義）」（1単位）、「海外保健福祉事情Ⅱ（実習）」（1単位）に変更（教育上の効果を考慮）
- ・「我が国の社会福祉・医療保障政策の知識」：開講学期を後期から前期に変更（授業時間割の調整および教育上の効果を考慮）
- ・「統計学」：基幹教員以外の教員1から「基幹教員 准教授1」に変更（教育上の効果を考慮）
- ・「医療必修」：開講学期を後期から前期に変更（授業時間割の調整および教育上の効果を考慮）
- ・「医学/医療史」：開講学期を後期から前期に変更（授業時間割の調整および教育上の効果を考慮）
- ・「人間工学」：開講学期を後期から前期に変更（授業時間割の調整および教育上の効果を考慮）
- ・「メディカルマナー入門」：開講学期を後期から前期に変更（授業時間割の調整および教育上の効果を考慮）
- ・「作文・読解Ⅱ（応用）」：開講学期を後期から前期に変更（授業時間割の調整および教育上の効果を考慮）
- ・「文法・語彙Ⅱ（応用）」：開講学期を後期から前期に変更（授業時間割の調整および教育上の効果を考慮）
- ・「発表・討論Ⅰ（応用）」：開講学期を後期から前期に変更（授業時間割の調整および教育上の効果を考慮）
- ・「医療福祉専門漢字」：開講学期を後期から前期に変更（授業時間割の調整および教育上の効果を考慮）
- ・「医療福祉専門語彙」：開講学期を前期から後期に変更（授業時間割の調整および教育上の効果を考慮）
- ・「健康科学理論」：開講学期を後期から前期に変更（授業時間割の調整および教育上の効果を考慮）
- ・「微生物と病気」：基幹教員以外の教員1から「基幹教員 教授1」に変更（教育上の効果を考慮）
- ・「保健医療福祉制度論」：開講学期を前期から後期に変更（授業時間割の調整および教育上の効果を考慮）
- ・「社会福祉学」：開講学期を前期から後期に変更（授業時間割の調整および教育上の効果を考慮）
- ・「リスクマネジメント論」：開講学期を後期から前期に変更（授業時間割の調整および教育上の効果を考慮）
- ・「生理学」：基幹教員以外の教員1から「基幹教員 准教授1」に変更（教育上の効果を考慮）
- ・「病理学」：基幹教員 教授1に「基幹教員 准教授1」を追加（教育上の効果を考慮）
- ・「臨床医学概論」：基幹教員以外の教員1から「基幹教員 准教授1」に変更（教育上の効果を考慮）
- ・「老年学」：配当年次を「1年」から「2年」に変更（教育上の効果を考慮）
- ・「生化学実習」：基幹教員 教授1・助教1に「基幹教員 講師1」を追加（教育上の効果を考慮）
- ・「医用工学・情報概論」：基幹教員 教授1に「基幹教員 准教授1」「基幹教員以外の教員1」を追加（教育上の効果を考慮）
- ・「医用工学・情報学実習」：基幹教員 教授1・助教1に「基幹教員以外の教員1」を追加（教育上の効果を考慮）
- ・「細胞診断学実習」：「基幹教員 助教1」を削除（教員の着任辞退による。基幹教員複数名で教授するため教育上の支障はない）
- ・「血液検査学Ⅰ」：基幹教員 教授1に「基幹教員 講師1」を追加（教育上の効果を考慮）
- ・「血液検査学実習」：「基幹教員 助教1」を削除（教員の着任辞退による。基幹教員複数名で教授するため教育上の支障はない）
- ・「微生物検査学Ⅰ」：基幹教員 准教授1から「基幹教員 教授1」に変更（教員の着任辞退による。教育上の効果を考慮）
- ・「微生物検査学Ⅱ」：基幹教員 准教授1から「基幹教員 教授1」に変更（教員の着任辞退による。教育上の効果を考慮）
- ・「微生物検査学実習」：「基幹教員 准教授1・講師1」を削除（教員の着任辞退および担当科目の見直しによる。基幹教員複数名で教授するため教育上の支障はない）
- ・「免疫検査学」：基幹教員 講師1から「基幹教員 教授1」に変更（教育上の効果を考慮）
- ・「免疫検査学実習」：基幹教員 講師1を削除し、「基幹教員 教授1」を追加（教育上の効果を考慮）
- ・「輸血・移植検査学」：基幹教員以外の教員1から「基幹教員 教授1・助教1」に変更（教育上の効果を考慮）
- ・「輸血・移植検査学実習」：基幹教員以外の教員1を「基幹教員 教授1」に変更（教育上の効果を考慮）
- ・「超音波・MRI検査学」：基幹教員 教授1から「基幹教員 准教授1」に変更（基幹教員の専門性および教育上の効果を考慮）
- ・「超音波・MRI検査学実習」：基幹教員 教授1・助教1から「基幹教員 准教授1・助教2」に変更（基幹教員の専門性および教育上の効果を考慮）
- ・「医療安全管理学演習」：基幹教員 教授2・助教1から「基幹教員 教授2」に変更（教員の着任辞退による。基幹教員複数名で教授するため教育上の支障はない）
- ・「臨床実習」：基幹教員 准教授4・助教2を「基幹教員 准教授3・助教1」に変更（教員の着任辞退による。基幹教員複数名で教授するため教育上の支障はない）
- ・「卒業研究」：基幹教員 准教授4を「基幹教員 准教授3」に変更（教員の着任辞退による。基幹教員複数名で教授するため教育上の支障はない）
- ・「循環動態画像診断学」：基幹教員以外の教員1に「基幹教員 准教授1・助教1」を追加（教育上の効果を考慮）
- ・「臨床検査診断学（Reversed-CPC）Ⅰ」：基幹教員 教授1から「基幹教員 講師1」に変更（基幹教員の専門性および教育上の効果を考慮）
- ・「臨床検査基礎演習」：基幹教員 講師1・助教1から「基幹教員 講師1・助教2」に変更（教育上の効果を考慮）
- ・「客観的臨床能力試験」：基幹教員 准教授4を「基幹教員 准教授3」に変更（教員の着任辞退による。基幹教員複数名で教授するため教育上の支障はない）
- ・「入門細胞診断学演習」：「基幹教員 助教1」を削除（教員の着任辞退による。基幹教員複数名で教授するため教育上の支障はない）
- ・「細胞診断学演習Ⅰ」：「基幹教員 助教1」を削除（教員の着任辞退による。基幹教員複数名で教授するため教育上の支障はない）
- ・「細胞診断学演習Ⅱ」：「基幹教員 助教1」を削除（教員の着任辞退による。基幹教員複数名で教授するため教育上の支障はない）
- ・「細胞診断学演習Ⅲ」：「基幹教員 助教1」を削除（教員の着任辞退による。基幹教員複数名で教授するため教育上の支障はない）
- ・「細胞診断学演習Ⅳ」：「基幹教員 助教1」を削除（教員の着任辞退による。基幹教員複数名で教授するため教育上の支障はない）
- ・「臨床検査質量分析学演習」：「基幹教員 助教1」を削除（教員の着任辞退による。基幹教員 教授1が教授するため教育上の支障はない）
- ・「遺伝子分析科学演習Ⅰ」：「基幹教員 准教授1」を削除（教員の着任辞退による。基幹教員複数名で教授するため教育上の支障はない）
- ・「遺伝子分析科学演習Ⅱ」：「基幹教員 准教授1」を削除（教員の着任辞退による。基幹教員複数名で教授するため教育上の支障はない）
- ・「生殖補助医療胚培養学演習」：「基幹教員 助教1」を削除（教員の着任辞退による。基幹教員以外の教員1が担当するが教育経験豊富な専門医が教授するため教育上の支障はない）

- (注) 2 (1) -① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、基幹教員等の配置の変更、主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。
変更がない年度は「特になし」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準（令和4年10月1日施行）の適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合（例：「専任教員 教授1」から「基幹教員 教授1」に変更）や、兼任・兼任教員から基幹教員以外の教員に変更した場合（例：「兼任教員1」から「基幹教員以外の教員1」に変更）については、記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
72 科目	126 科目	2 科目	200 科目	72 科目 [0]	127 科目 [1]	2 科目 [0]	201 科目 [1]	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{200} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 ■校舎敷地：借用面積58,854㎡、期間30年 ■運動場用地： ①借用面積3,557㎡、期間5年間（道路占用許可。その後、順次更新） ②借用面積5,659㎡、期間30年 ③借用面積11,944㎡、期間30年		
	校舎敷地	373,252㎡	— ㎡	— ㎡	373,252㎡			
	その他	114,126㎡	— ㎡	— ㎡	114,126㎡			
	合計	487,378㎡	— ㎡	— ㎡	487,378㎡			
(2) 校舎	専 用	228,213㎡	— ㎡	— ㎡	228,213㎡	大学全体 ■借用面積14,691㎡、期間20年		
	(219,567㎡)	(— ㎡)	(— ㎡)	(— ㎡)	(219,567㎡)			
(3) 教室・教員研究室		教 室	812室	教員研究室	438室	大学全体		
(4) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書		学術雑誌		機械・器具 点	標本 点	
		〔うち外国書〕冊	電子図書〔うち外国書〕	〔うち外国書〕種	電子ジャーナル〔うち外国書〕			
	保健医療学部 医学検査学科	103,860 [8,518] (104,367 [8,518])	25,410 [23,382] (25,366 [23,381])	2,520 [518] (2,520 [518])	16,347 [14,736] (16,334 [14,727])	11,985 (11,001)	191 (185)	電子ジャーナルは大学全体で共用 その他は大田原キャンパスで共用
	計	103,860 [8,518] (104,367 [8,518])	25,410 [23,382] (25,366 [23,381])	2,520 [518] (2,520 [518])	16,347 [14,736] (16,334 [14,727])	11,985 (11,001)	191 (185)	
(5) スポーツ施設等	スポーツ施設		講堂		厚生補導施設		大学全体	
	8,317㎡		— ㎡		7,465㎡			
(6) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	500千円	2,000千円	図書購入費	15,000千円	4,000千円	31,000千円
	共同研究費等	5,000千円	20,000千円	設備購入費	225,000千円	396,000千円	645,000千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,610千円	1,510千円	1,510千円	1,510千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、手数料収入、資産運用収入 等						

- (注)・設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）又は（その1の3）に準じて作成してください。
（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（1）校地等」及び「（2）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・「（4）図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（6）」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・校舎等建物の計画の変更（校舎の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・高等専門学校については「（3）教室・教員研究室」欄の「教員研究室」は記載不要です。
 - ・国立大学については「（6）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	国際医療福祉大学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0	
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考			
	年	人	年次人	人			倍	倍	年度	年度					
保健医療学部	4	615	-	2220	-		1.02	-	-	平成7年度					
看護学科	4	115	-	460	学士(看護学)		1.00	-	-	平成7年度	栃木県大田原市北金丸2600番1				
理学療法学科	4	100	-	400	学士(理学療法学)		1.02	-	-	平成7年度	同上				
作業療法学科	4	80	-	320	学士(作業療法学)		0.99	-	-	平成7年度	同上				
言語聴覚学科	4	80	-	320	学士(言語聴覚学)		0.97	-	-	平成7年度	同上				
視機能療法学科	4	50	-	200	学士(視機能療法学)		1.01	-	-	平成14年度	同上				
医学検査学科	4	80	-	80	学士(医学検査学)		1.07	-	-	令和7年度	同上	令和7年度より開設			
放射線・情報科学科	4	110	-	440	学士(放射線・情報科学)		1.08	-	-	平成7年度	同上				
医療福祉学部	4	140	5	570	-		0.88	-	-	平成9年度					
医療福祉・マネジメント学科	4	140	5	570	学士(医療福祉学) 学士(医療マネジメント学)		0.88	-	-	平成21年度	同上				
薬学部	6	180	-	1,080	-		0.97	-	-	平成18年度					
薬学科	6	180	-	1,080	学士(薬学)		0.97	-	-	平成18年度	同上				
医学部	6	140	-	840	-		1.00	-	-	平成29年度					
医学科	6	140	-	840	学士(医学)		1.00	-	-	平成29年度	千葉県成田市公津の杜4丁目2番				
成田看護学部	4	100	-	400	-		1.05	-	-	平成28年度					
看護学科	4	100	-	400	学士(看護学)		1.05	-	-	平成28年度	千葉県成田市公津の杜4丁目3番				
成田保健医療学部	4	290	-	1,160	-		1.05	-	-	平成28年度					
理学療法学科	4	80	-	320	学士(理学療法学)		1.05	-	-	平成28年度	同上				
作業療法学科	4	40	-	160	学士(作業療法学)		1.05	-	-	平成28年度	同上				
言語聴覚学科	4	40	-	160	学士(言語聴覚学)		1.08	-	-	平成28年度	同上				
医学検査学科	4	80	-	320	学士(医学検査学)		1.04	-	-	平成28年度	同上				
放射線・情報科学科	4	50	-	200	学士(放射線・情報科学)		1.06	-	-	令和2年度	同上				
成田薬学部	6	120	-	240	-		1.07	-	-	令和6年度					
薬学科	6	120	-	240	学士(薬学)		1.07	-	-	令和6年度	千葉県成田市公津の杜4丁目2番	令和6年度より開設			
赤坂心理・医療福祉マネジメント学部	4	120	-	480	-		0.98	-	-	平成30年度					
心理学科	4	60	-	240	学士(心理学)		1.08	-	-	平成30年度	東京都港区赤坂4丁目1-26				
医療マネジメント学科	4	60	-	240	学士(医療マネジメント学)		0.88	-	-	平成30年度	同上				
小田原保健医療学部	4	200	-	800	-		1.06	-	-	平成18年度					
看護学科	4	80	-	320	学士(看護学)		1.05	-	-	平成18年度	神奈川県小田原市城山一丁目2番25号				
理学療法学科	4	80	-	320	学士(理学療法学)		1.07	-	-	平成18年度	同上				
作業療法学科	4	40	-	160	学士(作業療法学)		1.04	-	-	平成18年度	同上				
福岡保健医療学部	4	220	-	840	-		0.97	-	-	平成17年度					
看護学科	4	60	-	180	学士(看護学)		1.01	-	-	令和5年度	福岡県大川市榎津137-1	令和5年度より開設			
理学療法学科	4	50	-	210	学士(理学療法学)		0.97	-	-	平成17年度	同上	令和5年度より入学定員変更(60→50)			
作業療法学科	4	30	-	130	学士(作業療法学)		0.85	-	-	平成17年度	同上	令和5年度より入学定員変更(40→30)			
言語聴覚学科	4	-	-	-	学士(言語聴覚学)		-	-	-	平成19年度	同上	令和5年度入学生より学生募集停止(40→0)			
医学検査学科	4	80	-	320	学士(医学検査学)		1.00	-	-	平成25年度	同上				
福岡薬学部	6	120	-	720	-		0.99	-	-	令和2年度					
薬学科	6	120	-	720	学士(薬学)		0.99	-	-	令和2年度	同上	令和2年度より開設			
大学全体	-	2,245	5	9,350	-		1.00	-	-	-	-				

- (注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）
- なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
 - ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 - ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度 A C の対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和8年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - ・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、0.7倍以下又は1.15倍以上の**学科**については、**必ず太字にしてください**。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 - ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
認 可 時 (令和6年)	該当なし		

- (注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおり記載してください。
【令和6年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（6）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（7）」と記載してください。
【令和6年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（6）（7）」と記載してください。
【令和7年度から新たに調査対象となった学科等又は令和6年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（7）」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<保健医療学部 医学検査学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
授業科目数 選択科目 126科目 計200科目（必修・選択・自由） （変更前） 海外保健福祉事情 選択科目（2単位）	学生の教養を深めるため、総合教育科目社会系の 選択科目（1科目）を追加 授業科目数 選択科目 127科目 計201科目（必修・選択・自由） （変更後） 海外保健福祉事情Ⅰ（講義） 選択科目（1単位） 海外保健福祉事情Ⅱ（実習） 選択科目（1単位）

（注）・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

学則に基づき大学としてFD委員会を置き、大田原キャンパスには「大田原キャンパスFD委員会」を設置している。（別紙1「国際医療福祉大学FD委員会規程」）

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

保健医療学部、医療福祉学部、薬学部の3学部合同で大田原キャンパスのFD委員会を概ね月1回開催している。令和7年度からは保健医療学部医学検査学科も参画し、当該学科からは2名の委員が参加している。

c 委員会の審議事項等

FD研修会の企画・運営、教員の資質向上、授業評価アンケートの実施等を審議する。

② 実施状況

a 実施内容

- ①大学全体での合同FD研修会
- ②大田原キャンパスにおけるFD研修会
- ③大田原キャンパスにおける教員相互の授業参観

b 実施方法

- ①大学全体での合同FD研修会
年2回、担当キャンパスによる研修会を開催。
- ②大田原キャンパスにおけるFD研修会
年1回の開催に向け、FD委員会にて企画運営。
- ③大田原キャンパスにおける教員相互の授業参観
授業参観可能科目を学内公表し、教員相互に授業参観。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

①大学全体での合同FD研修会

令和7年度は以下のテーマで計2回、キャンパス横断的な研修会の開催を予定している。

令和7年9月：合理的配慮を必要とする学生や障害のある学生に対する支援（仮）

令和8年3月：FD活動報告/学生が選ぶグッドティーチング賞受賞者報告会

②大田原キャンパスにおけるFD研修会

令和7年度は以下のテーマで計1回の開催を予定している。

令和8年2月：研究デザインと統計解析、倫理審査における留意点（仮）

③大田原キャンパスにおける教員相互の授業参観

前期授業期間は182科目、後期授業期間についても同程度の科目設定を予定している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

実施後にアンケート等から各教員へフィードバックを実施する。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

大学全体の方針として、半期の場合は15回目、半期の半分の場合は8回目に授業アンケートを実施。

b 教員や学生への公開状況、方法等

各教員へは集計結果をフィードバック。学生へは学内システム上で集計結果を公開している。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学は、開学以来、病気や障害を持つ人も健常な人もお互いを認め合う「共に生きる社会」の実現を大学の理念に掲げ、また21世紀の健康、医療、福祉を担うことができ、広い視野と国際性を身につけた人材の育成を教育目標としている。この理念・目標を基盤に、従前より実践的な専門職教育に全学で取り組んでおり、職能に直結する実習教育を重視し、さらに医療福祉の総合大学として関連医療施設及び福祉施設を有し、少人数制での細やかな教育を実践している。

このような本学の特徴を活かしつつ、医学検査学科は、基礎から高度な専門技術まで、時代が求める質の高い医療の実現のためのハイレベルな専門知識と最先端技術を修得し、臨床現場における対応力を培い、社会に貢献する臨床検査技師の育成を目的とする。

開設初年度となる令和7年度は、入学定員80名に対し志願者数は289名（志願倍率3.61）となり、本学科への期待の高さを証明するとともに、優秀な人材を確保できる結果となった。キャンパス所在地である栃木県のみならず、海外からの留学生1名を含め各地から86名の学生を迎えることができた。本学の基本理念や人材育成方針、教育目標が評価された成果であると考え、次年度以降も、引き続き学生確保への努力を継続していきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和7年（2025年）12月予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

・令和10年度（2028年度）に公益財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受審予定

(注)・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和7年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。